ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

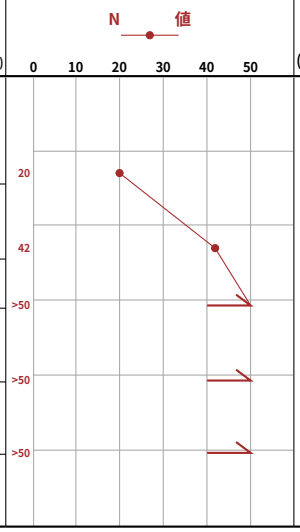
シートNO.

ボーリング名	No.2	調査位置				北　緯	36 ° 36 ’ 36.3000 ”
発注機関	栃木県鹿沼土木事務所			調査期間	2010-02-26 ～ 2010-03-04	東　経	139 ° 42 ’ 46.1000 ”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	190.31 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	5.07 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) 測定月日
1	189.01	1.30	1.30		有機質シルト (MO)	黒褐		軟らかい	0～0.70m未分解の植物根、腐植物混入。0.70m以深φ5～30mmの亜角礫点在。		03/02 1.11
2	187.61	1.40	2.70		玉石混じり砂礫 (GS-B)	灰褐	密な		φ2～50mmの亜角～亜円礫主体。マトリックスは中粗砂。1.45mにコア長9cm、1.55mにコア長8cm、1.65mにコア長5cm、1.75mにコア長9cm、1.85mにコア長5cmの玉石点在		
3	185.81	1.80	4.50		砂礫 (GS)	黄褐	非常に密な		2.70m以深マトリックスに粘土混じる。3.65～3.95m間φ2～40mmの亜角礫主体。全体的にマトリックスに粘土分多い。		
4	185.24	0.57	5.07		粘板岩 (Sl)	暗灰			亀裂多くコアは礫状コア。岩級区分はCM級。		
5											

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／12	10／8	9	20／30	20
1.45					
2.15	11	13	18	42／30	42
2.45					
3.05	50／6			50／6	>50
3.11					
4.05	50／4			50／4	>50
4.09					
5.05	50／2			50／2	>50
5.07					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						03/01
						03/02
						03/03